※令和４年度以降入学生用

学校番号	1204

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	声楽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・発声、拡声、呼吸法を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・自分に合った声の出し方を知り、自分の個性を表現する能力を育てます。

２　学習の到達目標

声楽に関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に歌唱表現するために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができるようにする。
（３）音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。（知識） ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能をを身に付け、歌唱で表している。（技能）	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・旋律と言葉との関係に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	正しい発声を身に付けて、豊かな響きで歌おう	校歌 翼をください 歌の翼に	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした歌詞表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:曲想や歌詞との関わりや旋律の特徴から自己のイメージを深め、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:正しい発声を身に付け表現を創意工夫する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート
	日本語の響き、歌詞の内容や背景を理解して、ふさわしい歌声で表現しよう	この道 からたちの花	a:（知）日本語の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、日本語の子音や鼻濁音の発音の仕方、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、理解した歌詞の内容から思い浮かぶ自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫をしている。 c:曲想と歌詞の内容を生かしながら、日本語を美しく歌う歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

	歌詞に込められた思いを感じ取り、ふさわしい表現を工夫しよう	Born This Way 糸	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解してる。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:発声の基本及び歌詞に込められているメッセージから歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート
2学期	言葉の美しい響きを感じながら、拍の流れにのって歌おう	うつろの心 愛の喜び	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声と関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:イタリア語の発音の特性とそれにふさわしい発声や、８分の６拍子の歌唱表現に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

	フランス語の歌詞の内容を理解して、曲想にふさわしい表現を工夫しよう	ロウ人形、音人形 夢のあとに	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声と関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:フランス語の発音や歌詞の内容を理解して、曲ににふさわしい歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート
	曲の構成やドイツ語の歌詞の内容を理解して、曲想に適した表現を工夫しよう	君はまるで花のよう おれは鳥刺し	a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声と関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:ドイツ語の発音の特性や、歌詞の内容を理解して歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

	オペラ《フィガロの結婚》の歴史的背景を理解し、オペラの魅力を感じ取ろう		a:（知）曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。 c:作品のあらすじや、モーツァルトの時代の貴族批判や社会不安を理解することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート
3学期	歌詞に込められた主張を理解して歌おう	風に吹かれて Imagine	a:（知）ポピュラー音楽のジャンル、音楽構造や歌詞に込められたアーティストの主張などとの関わり及びポピュラー音楽の多様性などについて理解を深めている。 （技）歌詞の内容を踏まえて、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けている。 b:英語歌詞の内容についてその背景を含めて理解し、曲想やジャンルなどを考慮してするとともに、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:ポピュラー音楽の歌唱表現の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

	各声部の動きを聴き合って、美しい響きを意識しながら合唱を楽しもう		a:（知）曲想と音楽の構造や歌詞との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりとその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 （技）創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c:各声部の役割やテクスチュアの変化を考えて合唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表 演奏の聴取	発表 演奏の聴取	観察 発表 振り返り レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度